

進む首里城正殿の復元

「首里城復興に向けた取り組み」

令和元年10月31日未明に発生した火災により、首里城正殿を含む建物9棟及び建物内に展示・収蔵されていた多くの美術工芸品などが焼失しました。

県では国と連携し、首里城正殿の早期復元に向けて取り組んでおり、国内外の多くの皆さまから寄せられた寄附金を活用し、復元工事に用いる木材や赤瓦の調達、装飾品の製作とともに、首里城復元後も見据えた人材育成や歴史まちづくりに取り組んでいます。

今回は、寄附金を活用した取組の概要および首里城復元工事の進捗についてお知らせします。

「寄附金について」

火災直後から、たくさんの方々から寄せられた寄附金は、令和6年度末時点で約61億円を超えており、そのうち「首里城復興基金」として約

55億円、「首里城未来基金」として約6億円を「寄附いただいたいております。改めまして、寄附していただいた多くの皆さまに感謝申し上げます。

「首里城復興基金」

火災後から令和4年3月までに寄附いただいた「首里城復興基金」は、正殿の赤瓦や屋根を支える柱・礎石などの主要な部材の調達や、来訪者の目につきやすい龍柱や龍頭棟飾、扁額などの装飾品の製作に使われています。

製作にあたっては、平成の復元時以降の新たな知見や、沖縄県立芸術大学などの研究機関の協力による高精度な古写真、現時点で確立された技術、有識者による監修などのもと、当時の姿により近づけられるよう取り組んでいます。

令和5年度までに木材や礎石を調達しており、令和6年度は屋根に葺く赤瓦約60,000枚をはじめ、

首里の歴史的空間創出」に使われています。

首里城に象徴される伝統的な建築技術を継承するため、人材育成と次世代継承を支える人材ネットワーク構築を図るための研修事業を実施しています。令和6年度は、建造物木工分野と木彫刻分野の研修を実施し、令和7年度も引き続き人材育成に取り組めます。また、歴史文化資源の再現整備として、龍潭近くの世持橋勾欄の製作を進めています。

「その他の取り組み」

正殿復元だけでなく、県では、「首里城復興基本計画」に基づき、火災の再発防止に向けた管理体制の構築、琉球王国世継ぎ(世子中城王子)の邸宅であった中城御殿や松崎馬場の整備などにも取り組んでいます。

「首里城正殿が姿をあらわす」

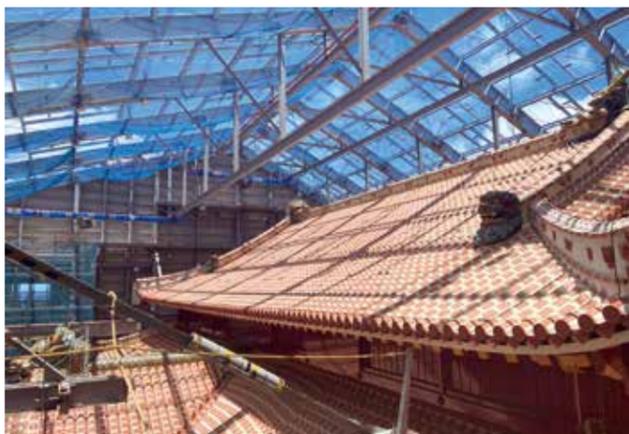
首里城正殿復元の進捗ですが、現在、首里城正殿の外観塗装が完成しており、令和7年10月末には、工事中の正殿を覆っていた、素屋根が解



世持橋イメージスケッチ



中城御殿イメージパース



正殿屋根(素屋根内)の様子



イベント紹介

首里城の着実な復興の状況を県民の皆さまと共有するため、「観て」「学んで」「楽しむ」イベントを開催します！

時期：令和7年12月(予定)

場所：首里城公園

内容：首里城周遊ツアー・親子向け手作り体験(昼の部) ナイトタイムコンテンツ(夜の部)

詳細は決まり次第、首里城復興課公式Xやホームページなどでお知らせしていきます！

首里城復興課公式X

問い合わせ 首里城復興課 電話：098-943-0140